



佛蘭斯銀行概要

佛國少子年加藤三命之為可洞公年

799





大正十一年四月  
大隈侯爵

西曆一千七百九十年佛國大内亂之際シ政府ハ非  
 常衰弊ヲ受ケ頗ル困難ヲ極メタリキ由ツテ  
 一ノ銀行ヲ創立シ之ヲシテ政府カ金融ノ具ト  
 ナサンコトヲ謀リテ第一等ノ銀行ニシユル  
 官大統領ノ如ク及ヒ第一等議官クレテ  
 兩氏大ニ此舉ヲ勸奨盡カシ其銀行主トナシ  
 及ヒ其他二三ノ銀行主ヲシテ其魁主トナシ  
 諸事ヲ計畫シ終ニ一社ヲ結ビテバンクド  
 ンスト稱スル一銀行ヲ創立スルニ至リタリ  
 モ政府ニ於テ當時銀行ノ創立ヲ勸メテ勸奨シ  
 タルノ所以ハ佛國一般ノ融通ヲ謀リシハ論  
 ツ遂ニ政府ノ銀行トシテサントスルノ目的アル





ヲ以テナリ  
右ノ如ク銀行創立ノ議決シタルハ支配人若干  
名ヲ撰ニ之レヲシテ創立百般ノ事務ヲ擔任セ  
シメ新ニ株券壹株十ヲ作り之レヲ發行シテ資  
本金三千萬フランクヲ募集スルニ急ナリシモ當  
時一般衰弊ノ時ナレハ金額募集ノ事甚難シ仍  
テ政府ヨリ特別ノ権理ヲ銀行ニ附与シ非常ノ  
保護アルニ非サレハ其成果ヲ見ルノ至難ナル  
ト政府カ收入スル各種税金ヲ以テ國債支消ノ  
為メ分當シタル金額ノ半ハヲ以テ銀行ノ資本  
ニ充テントラシテ支配人ヨリ當時ノ大蔵卿ニ請願  
シタリ大蔵卿ハ此請願ヲ允許シテ五百萬フラン  
クヲ以テ五千株ヲ買入レタリ是ニ於テ初メテ

ケース、デ、コント、コ、ラ、ント、唱、フル、一、大、銀行、ト、相、並、立  
シ、テ、開、業、ス、ル、ニ、至、リ、タ、リ、然、レ、氏、開、業、後、他、ノ、銀  
行、ト、其、營、業、ヲ、競、争、ス、ル、ニ、至、リ、テ、ハ、一、國、ノ、富、ヲ  
分、ケ、互、ヒ、ニ、融、通、ヲ、害、シ、其、利、益、モ、亦、隨、ツ、テ、減、却  
ス、可、シ、ト、支、配、人、ノ、所、見、ア、リ、テ、互、ニ、合、併、シ、其、力  
ヲ、一、ニ、歸、シ、大、舉、シ、テ、全、國、ノ、融、通、ヲ、謀、ル、ノ、說、ヲ  
主、張、シ、タ、ル、ニ、漸、ク、其、說、ニ、歸、シ、遂、ニ、千、八、百、年、二  
月、二、十、日、相、共、ニ、合、同、シ、テ、更、ニ、開、業、ヲ、為、セ、リ、此  
時、ニ、當、リ、テ、大、蔵、省、ノ、非、常、預、備、金、ヲ、モ、亦、此、銀、行  
ニ、託、シ、テ、管、守、セ、シ、ム、ル、ノ、議、ニ、決、シ、開、業、後、十、五  
日、ヲ、過、シ、テ、預、備、金、モ、亦、悉、ク、此、銀、行、ニ、預、ケ  
タ、リ、是、レ、他、無、シ、全、國、人、民、ノ、信、用、ヲ、固、ク、シ、以、テ  
銀、行、盛、大、ヲ、期、セ、ン、カ、為、メ、ナ、リ



初メ行創立ハ時ニ當リテハ昔情百端頗ル困  
難ヲ極メタルヲ勘テカフサリシモ政府ヨリ非  
常ノ特權ヲ附与セシト非常ノ保護ヲナセシ  
依リテ遂ニ其完璧ヲ見ルニ及ヒタリ  
銀行創立ノ時ハ佛國政府内亂ノ餘弊ヲ継キ費  
用極メテ多端ナリシモ銀行ニ向ツテ多數ノ金  
額ヲ出サシメサリシ畢竟創立ノ際ニ臨ニ多數  
ノ金ヲ引キ出ス片ハ自カウ他ノ信用ヲ失ヒテ  
終ニ衰微ニ属センヲ恐レテナリ且ツ銀行創  
立ノ初メニハ他ノ銀行ハ雖モ各自皆紙幣ヲ發  
行シタレモ千八百三年四月十四日ニ至リテ右  
紙幣ノ發行ヲ禁止シ單ニ此銀行ノ發行スル  
ノ權ヲ与ヘタリ故ヲ以テ右銀行ハ漸次其營業

衰頹ヲ來タシ此銀行(バンク)ハ次第ニ政府ニ  
属シ益信用ノ厚キヲ加ヘタリ而シテ其資本ハ  
増加シテ四千五百萬フランクニ及ヘリ再後第一  
世奈勃翁ノ帝位ニ登リシヨリハ此銀行ハ全ク  
政府ニ属シ其頭取及ヒ副頭取ハ勅撰ヲ以テ採  
用スルノ規則ト定メ且ツ其資本金ヲ増加スル  
ニ更ニ九千萬フランクヲ以テセリ  
千八百八年政府ヨリ命シテ其支店ヲ各地ニ設  
ケシメタリ即チリヨニルリアンリルノ三府ニ支  
店ヲ置キ一二年間實驗ヲ經タルニ甚タ利益無  
キヲ以テ之レヲ廢止シタリ  
當時ニ在リテハ此ノ如キ多數ノ資本ヲ要セサ  
ルモ銀行ノ營業上融通金ニハ若干不足ノ事ア



ル無其故ハ他ヨリ各種ノ預リ金アレハ之レ  
ヲ支用シテ十分ノ餘リアルヲ以テナリ然ルニ  
政府ニシテ極巨額ノ資本ヲ要スルハ皆當時戰  
争ノ為メ臨時入用ノ金額ヲ欲スルカ故ナリ  
一八八十四年西奈勃翁敗軍、後佛國無事、日  
ニ於テハ銀行ノ營業金運轉上ニ甚ク困却セシ  
ヲ以テ更ニ政府ノ允許ヲ受ケテ臨時紙幣一  
分ヲ減却シ六千七百九十萬フランシ、資本トナ  
セリ又此時ニ當リテ更ニ他ノ銀行ヲシテ支店  
ヲ設ケ及ヒ紙幣ヲ發行スレ、二件ヲ允可セリ  
然レモ他ノ銀行紙幣ハ只其所在地方ノ之ノ通  
用ナレハ盛大ノ事業ヲ營ムヲ得ス志、乍ラ數  
年ノ後ニ至リテハ皆若其營業ヲ感ニシスルニ

至レリ  
一八八十四年第三世奈勃翁、佛國大統領ト  
ナリ諸政改革ノ時又他銀行ノ發行紙幣ヲ禁止  
シ更ニ「ハシッドフランス」ノ資本ヲ増シテ九千二百十  
五萬フランクトナセリ又千八百五十七年六月九  
日其資本ヲ一倍シ一億八千二百五十萬フランク  
トナセリ其一陪セシ所以ハ當時政府ニテ一億  
萬フランクノ公債ヲ起サンコトヲ銀行ニ請求セシ  
ニ依リ其請求ニ應ニ得シカ為メナリ  
右ノ如ク政府ヨリ非常ノ特權ヲ附与シ非常ノ  
保護ヲ受ケタルヲ以テ遂ニ今日ノ如ク世界中  
無比ノ信用ヲ採メシ五國無類ノ銀行トナナリ  
シナリ



バンクド、フランスス、佛國各州ニ支店ヲ設クル  
ヲ得可ク其事務ハ總ニ本店ト異ナクスト雖氏  
決シテ紙幣ヲ製造スル、權無キナリ其役負ハ  
頭取壹名、検査役三名、支配人及ヒ監察、四役ナ  
リ支配人ト監察トハ支店ノ大小及ヒ事務ノ繁  
簡トニ於テ適當ノ人負ヲ置リ頭取ノ撰舉ハ本  
店ト同シク政府ノ特撰ニ係ル支配人ハ株主中  
多數ノ株券ヲ所有スル者ノ内ヨリ五十名ヲ撰  
ミ五十名ノ議定ヲ以テ又二名ヲ撰ミ其姓名ヲ  
本店頭取ニ報知シテ後其一名ヲ頭取ニテ撰定  
スルナリ検査役ハ本店議員中ノ集會ヲナシ其  
評議ノ歸スルモノヲ以テ撰ム監察ハ本店ト異  
ナリ全ク頭取ノ特權ヲ以テ撰定ス

紙幣發行ノ件ニ就キテハ衆議決定スト雖氏檢  
査役ニテ適當ノ議ナリト認メサル中ニ之レヲ  
執行スルヲ得ス検査役ハ會議ノ席ニ臨ミテハ  
發言ノ權無シト雖氏紙幣發行ノ事ニ在リテハ  
專ハラ検査役ノ特權ニ係レリ故ニ從令ニ政府  
ノ名代人、如キ臨席ニテ政府便宜ノ為メ多數  
ノ紙幣ヲ發行セシメント謀ルモ能ハサルナリ  
此銀行ニ於テハ政府ノ保護ニ係ル特權限ト銀  
行獨裁ノ權限ト相平均シテ規則其宜シキヲ得  
ルカ故ニ敢テ危殆ノ弊アルヲ無シ其復負ハ皆  
政府ノ直命カ或ハ集議院ノ撰舉ニ係ルヲ以テ  
設キ其性質ハ異ナリトモ皆一般ノ公益ヲ謀ル  
ヲ以テ主義トシ敢テ政治上ニ關係スルノ人物



無シ故ニ黨派ニヨリテ事ヲ謀ハテ弊害ヲ防ガ

銀行役員及シ其撰擧法ト事務處分ノ概畧左ノ

後ハ

頭取一名 副頭取三名 支配人十五名

検査役三名 評議役七名 書記役一名

検査役一名 出納役一名 評議役一名

等ナリ頭取及シ副頭取ハ全ク政府ノ特権ニシ

テ大統領ノ直命ニ係ル支配検査ノ兩役員ハ佛

國集議院ノ議定ニ由ツテ撰擧ス尤モ支配人内

五名及シ検査員ノ三名ハ商人又ハ製造所ヲ有

スル者ニ限レリ右ノ頭取副頭取及シ支配検査

ノ四役ヲ以テ銀行ノ議負ト稱ス

議席ヲ開ク中ハ頭取ヲ以テ議長トシ副頭取及

シ支配人ヲ以テ議負トス検査役一名議負トナ

リテ臨席スト雖モ只傍聴スルノニ議中漫リニ

發言スルノ権ヲ有セス

議事ノ條目ハ大概左ノ如シ

各種割引手形ノ性質ト種類ノ事

他銀行及シ各商會等ヨリ依頼ノ事

他銀行ト約定ノ事

銀行紙幣ノ製造及シ其發行ノ事

銀行権理ノ保守且ツ亦想ニ抵觸スルカ否ノ

事 銀行株主中ノ為メニ專ハラ利益ヲ謀メントス



ルハ論無シト雖凡却テ國民一般ノ不<sub>レ</sub>傷害<sub>ニ</sub>  
 関スル件アルハ更ニ政府ニ於テ臨時名代人  
 ヲ撰ミ之レ<sub>ル</sub>銀行ノ議席ヲ考セシメ其議ヲ交  
 付シム決<sub>ス</sub>ル也<sub>ニ</sub>議事不<sub>レ</sub>適當ト認ムルハ右  
 名代人ニ於テ其決議ヲ破却シ更ニ議セシムル  
 權アリ名代人ニハ此專權アレ<sub>ル</sub>凡<sub>レ</sub>議事<sub>中</sub>發言  
 及ヒ投票ノ權有<sub>ル</sub>ト無<sub>シ</sub>  
 政府ヨリ銀行ニ命令スル<sub>ト</sub>アリテ其事大<sub>ニ</sub>蔽<sub>ル</sub>  
 ニ益アリテ銀行ニ不利ナル<sub>ト</sub>ハ議<sub>中</sub>ヨリ支  
 配人ヲ投票シテ委<sub>ス</sub>負<sub>ト</sub>シ其目<sub>ハ</sub>取<sub>ル</sub>モ<sub>ト</sub>  
 ス支配人ハ常ニ銀行ノ議事<sub>ヲ</sub>親密<sub>ニ</sub>テ<sub>テ</sub>實<sub>ニ</sub>施  
 老鍊ナルカ故ナリ



